

桜谷 社会福祉協議会の状況

令和5年 5月現在				設立年月	昭和 39年 4月 1日
会 長	西 野 至 通		副会長	山下 朋之	向島 多喜子
事務局所在地	地区センター内 ・ 公民館内 ・ <u>その他</u> (会長、事務局長宅等) ○をお願いします				
事務局TEL		事務局FAX		事務担当	向島 多喜子
人 口	5, 682 人	世帯数	2, 555 世帯	高齢化率	28.18%
主な活動等	1. 福祉関係・諸団体との情報交換、協調。 自治振興会が主導し、校区に設置した「高齢者生活支援体制整備地域連絡会議」を中心に、各町内会、民生委員・児童委員会、長寿会、防災会などが参加。 2. 「ふれあいケアネット融合型事業」の推進 福祉推進員が、町内毎にチームを組んで、一人暮らし高齢者を対象に、「見守り、声かけ」等で、安否確認のほか、話し相手、買い物代行、ゴミ出し等、日常生活の一部を支援し、「孤立化」「引き籠もり」を防止している。 3. 福祉活動の広報 広報誌の発行 … 年2回発行 … 全戸配布(2500世帯)。… 現在 35号。 事故防止の「啓蒙チラシ 作成と適時配布」。 ●特殊詐欺(還付金サギなど)の注意喚起。●コロナ感染注意、●食中毒の予防、 ●熱中症予防＝水分補給、●火災予防(火の用心)、●入浴時ヒートショック予防、等。 4. 事故防止の啓蒙活動 従来の、一人暮らし高齢者に対する「緊急連絡カード」設置に代え、令和2年度から”命のボタン”の事業に取組み、一人暮らし高齢者のほか、一般希望者にも配布。 命のボタンに ”緊急連絡カード” を入れて冷蔵庫に保管する。支援対象者が急病等で救急搬送する場合、救急隊員に「かかりつけ病院、持病や常用薬剤」の情報を提供する。 「緊急連絡カード」は、記載事項を「随時更新」する。 5. 校区内他団体との事業支援、行事の共催。 いきいきクラブ(給食ボランティア)の活動支援。(弁当調理と民生委員が配食)。 保健推進委員会の「健康フェスティバル」。「いきいきサロン」などの活動支援。 6. 一人暮らし高齢者の「ひきこもり防止の食事会」… 8月に 年一回。 給食ボランティアと民生委員会による「給配食サービス」は、7月～9月の間、食中毒の危険がある為、休止し、それに代えて8月に「食事会」を開催している。 食事会では、各種アトラクション を併催し歓談、懇親している。 7. 福祉推進員の育成、定例会議。施設見学、講演会開催 等の研修。 町内会の事情により、1年から2年で交代するので、その都度、引継ぎや参考資料を配布して、活動の目的や役割、内容などを学習している。 毎月1回の「推進員定例会議」では、活動事例の報告・課題検討・意見交換など。 活動報告書は、別途提出。その他、年一回、期末に反省会を開催。 健康問題や、高齢者に関する諸問題について、講演会などを企画し開催。 福祉施設の見学会は、コロナ禍の為、しばらく休止中。				
会長のメッセージ	上記「主な活動欄」に記載した通り、校下の福祉関係団体から、広く協力を得て、情報交換、協調体制の確立を図っています。そして、福祉推進員制度を導入し、活動開始以来「経験者」が、累計 100名を超えていて、更に、広報紙やチラシの発行・配布を通じて、当社協の活動が、住民に広く認知されて、理解と協力が高まっています。 しかし、福祉推進員は、町内会の事情により、任期 1年～2年で交代する所があり、高齢者側から見て「折角慣れたのに、また交代したのか？」という不安感・不信感が起こり、「信頼関係の構築」に苦慮しており、同時に「後継推進員の確保が困難」になっているので、如何に対処すべきか？、皆さんの活動を参考にさせて頂ければ幸いに存じます。 今後は、一人暮らし高齢者の「孤立」「孤独死」の防止に加えて、「経済的な困窮」「災害時の支援、誘導、救出」などにも積極的に取組んでいきたい。				